

Rotary 週報



第2660地区

The Rotary Club of OSAKA-WEST

大阪西ロータリークラブ

創立 昭和32年6月4日

事務局 大阪市北区梅田1丁目1番3号
大阪駅前第3ビル30階(〒530-0001)
電話 06-6348-8436 ファックス 06-6347-4556
ホームページ <http://www.osaka-westrc.org>
メール office@osakawestrc.org
例会日 毎週月曜日 12時30分
例会場 ヒルトン大阪
会場電話 06-6347-7111

会長 上田 茂久
幹事 寺田 幸司
会報委員会 木村 友昭

4つのテスト われわれがものごとを考え、言い、また為そうとする場合はこれに照合してから。
Ⅰ 真実かどうか。Ⅱ みんなに公平か。Ⅲ 好意と友情を深めるか。Ⅳ みんなのためになるかどうか。

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

SERVE TO CHANGE LIVES

シェカール・メータ

No 2527 2021年9月27日

本日のお知らせ

政府より発出されました新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言を受け、休会といたします。

◆ 指名委員会開催

13:00より、ZOOMにて開催致しますので、委員の方はご出席ください。

次例会(10月4日)のお知らせ

◆ R.S. 「奉仕の理想」

◆ 卓話 「米山月間にちなんで」

地区米山奨学委員長 末松 大幸氏
(担当会員 奥村 茂樹 君)

◆ RYLA実行委員会開催

例会前 11:30より、ヒルトン大阪5階ガラスルームにおいて開催致しますので、委員の方はご出席ください。

◆ 10月度定例理事会開催

例会終了後、ヒルトン大阪5階ガラスルームにて開催致しますので、理事・役員の方はご出席ください。

前例会(9月13日)の報告

政府より発出されました新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言を受け、休会といたしました。

クラブ・ニュース

◆ 西成チャイルド・ケア・センター(にしなり子ども食堂) 支援活動報告

西成チャイルド・ケア・センターが実施する、「応援ボックス活動」の支援を実施しました。

1. 「応援ボックス活動」の概要

- ① 主催 西成チャイルド・ケア・センター
- ② 目的 500軒の貧困家庭に、米、袋麺、缶詰等の食品を「応援ボックス」として無償送付

③ 期間 6~9月 1回/月 計2000箱の送付

2. 大阪西ロータリークラブの支援内容

- ① 寄付(応援ボックス100箱相当)
- ② 9月6日、13日、20日の3回で、約300箱の



9月は基本的教育と識字率向上月間です
9月はロータリーの友月間です

梱包作業を実施。緊急事態宣言延長のため、少人数、短時間で実施

- ③ 参加者：明石、粟村、井上(久)、井上(佳)、松坂、村上(正)、中安、高木、寺田、鳥居、上田（敬称略）
大阪西RAC等3名、
- ④ 当ロータリーの支援・協力の記載のチラシを同梱（社会奉仕委員長 松坂英孝）



◆ 定足数例会報告

書面にて開催しました定足数例会ですが、賛成49票、反対0票、会長委任状12票にて成立いたしました。指名委員会の設置は、承認されました。

◆ 会員情報変更

三枝 輝行会員

詳細については事務局宛お問い合わせください。

◆ ガバナーメッセージ

基本的教育と識字率向上月間／ロータリーの友月間に寄せて

前年度4月の母子と健康月間において、大阪西南RACの方の子宮頸がんをテーマにした話が、ロータリーの友に掲載されていました。本地区のRACの皆さんの活躍ぶりを喜んだのを覚えています。今年度も各ロータリークラブはもちろんですが、IAC、RACをはじめ次世代の皆さんの活動・活躍がロータリーの友を通して、多くの人々に発信されるのを楽しみにしています。

さて、本地区の若者たちの活躍からもわかるように、日本の子供たちの知的水準は、世界の中でも高く、当然、識字率は1948年を最後に調査されておらず、この問題を直接肌で感じることはできません。簡直前ガバナーが昨年紹介されましたが、ユネスコの調査によると2004年から2018年にかけて行われた調査で世界には5900万人（15～24歳）の若者が日常生活に支障をきたしています。コロナ禍で海外への渡航に制限を受けていますが、工夫をし、世界の子供たちの識字率向上に貢献されている各クラブに感謝するとともに今年度も引き続きよろしく願いいたします。

さて、本地区は今年度の重点施策として、教育を柱にしましたが、日本は識字率の問題はないにしても、コロナ禍における疲弊は広がり、その影響は、様々な形で子供の成長に影を落としています。学校では、海外渡航はもちろん、企業インターンシップ、地域活動等様々な年間行事が中止され、人間形成にとって大事な時期に多くの機会損失が生まれています。また、各家庭での様々な経験の機会、例えば、芸術鑑賞や他の文化に触れる機会などが失われ、衣食住を含む生活環境も急激に悪化しています。どうか皆様の方で、子供たちが未来に明るい夢を描けるように彼らが多くのことを学べる土壌を醸成してあげてください。どうぞよろしく願いいたします。子供たちに笑顔を！

RI 第2660地区 ガバナー 吉川秀隆
（ガバナー月信9月号より）